

# プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち11月～3月号で、参加した生徒の報告書を紹介します。

参加報告

## プラチナ未来人財育成塾を通して学んだこと

旭志中学校2年 中野遥哉さん



私は、プラチナ未来人財育成塾に参加し、多くの学びを得ることができました。

まず、私が初めに印象に残ったことは、菊池康紀先生の講義です。持続可能な社会のために、私たちができることはどんなことなのかを考えさせられました。菊池先生の話を聞いて驚いたことは、マイバッグや電気自動車についてです。数年前からSDGsへの取り組みが盛んに呼びかけられるようになり、誰でもすぐに取り組むことができるものの一つがマイバッグの使用です。

しかし、マイバッグ一つを作るためにレジ袋何百倍という資源が使われているということ。マイバッグは繰り返し使用することができず、お店でもらったレジ袋は数回レジ袋として使用し、その後はごみ袋として使用できます。例えばレジ袋600枚分のエネルギーを使って作られるエコバッグだとしたらそれ以上の回数を利用して初めてエコと呼ぶことができます。一人一人の使い方によってどちらがエコになるかは違うということなのです。

また、電気自動車についても同じです。菊池市、特に私が住んでいる旭志では車は欠かせない移動手段です。菊池先生が調べられたものによると3年から4年しか乗っていない、まだ十分に乗れる車からの乗り換えが最も多かったということでした。環境に優しいといわれているものが、状況や使い方によって必ずしもそうではないということ、物事を一つの方向から見るのではなく、さまざまな角度から見て全ての人々が理解し、自分に合ったものを選んで選択することが大切だと学びました。

今回、多くの先生方の講義を聴き、「2050年の社会はどうあるべきか、そのときの自分はどうかありたいか」を問われました。2050年の自分は41歳です。プラチナ未来人財育成塾に参加するまで想像もしていませんでしたが、それはとても無責任なことだと思います。未来の社会の主役である私たちの考えや行動で、未来の社会も変わっていくということです。

岡、宮崎の中学生と東京の大学生4名で行いました。その中で、未来のために自分たちができることは、まず、現状を知ること、広い視野を持つことだと感じました。そして、自分の考えをきちんと相手に伝え、違う意見だとしてもそれを否定するのではなく、認め合い、議論を深めていくことで、違う視点から物事を見ることができました。現状を理解し、未来を提案し、心も地球も豊かなプラチナ社会を目指していけるよう、それぞれが自分の行動に責任を持ち、過ごしていくことが今回学んだ私のプラチナ社会です。

残念ながら台風の影響でグループの発表資料作成や発表への参加はできませんでしたが、それに、参加して仲良くなった中学生との別れがとても悲しかったです。家族と離れ、東京という私たちが暮らしている菊池とは全く環境が違う場所、同年代の人たちと4日間を過ごすことはとても貴重な経験でした。

# プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち11月～3月号で、参加した生徒の報告書を紹介します。

参加報告

## 経済・社会・環境を調和し、考える力をつけ、プラチナ社会実現を目指す

旭志中学校2年 岩根雪乃さん



私は8月5日から8月8日までの4日間プラチナ未来人財育成塾に参加しました。

プラチナ社会の実現に向けて6名の講師の方の講義を聴き、そこから2050年に未来の社会はどうあるべきか、未来の自分はどこへいきたいかを考えていきました。プラチナ社会とは、地球が持続し、豊かで全ての人の自己実現を可能とする社会のことです。

4日間の活動を通して印象に残っているのは、菊池康紀先生の考え続ける力と所千晴先生の経済・社会・環境の調和です。

菊池先生の講義では、「考える力を身につける」をひとつのテーマとして話されました。その中でも、特に考える力は大切だと感じたのは、エコバッグは本当にエコなのかという話でした。レジ袋は使い捨て、マイバッグは繰り返し使うという違いがあるので、一定の期間に使うマイバッグとレジ袋の量を基準に比べます。人によってはレジ袋をゴミ袋にする人もいますから、それぞれの使

い方も視野に入れて、考えなければなりません。世間ではエコバッグが推奨されていますが、使い方はよければレジ袋の方がエコになることもあるのです。

私は、この話を聴いて自分で考えることの大切さに気付きました。からはさまざまな視点に立って物事を考え、多様な意見や考えを取り入れる力を身につけていきたいと思えました。

そして、所先生の講義では、プラチナ社会実現と経済・社会・環境の調和を同時進行するお話が印象に残りました。私はこのお話を聴いて、たしかに経済が回らなければ資金や人々の生活がままならなくなり、社会が回らないと一人一人が尊重されず豊かとは言えなくなってしまうことから、プラチナ社会の実現と経済・社会・環境の調和の同時進行が必要だと思えます。

そのために、私はプラスチックごみの分別や電気をこまめに消したり、家を建てたい人に二重窓

や太陽光発電をすすめたりしていきたいです。

今回のプラチナ未来人財育成塾に参加して、地球が危機という状況をより身近に感じることができました。そして、地球を持続させ、プラチナ社会を目指すため私たちがしなければならぬことは、地球の危機を理解し、それぞれが自分にできることをしていくことです。私も地球の持続とプラチナ社会の実現のため、小さなことから始めていきたいと思っています。

